

平成29年度

事務事業評価表 A (平成28年度の実績評価)

記入年月日
平成 29 年 4 月 3 日

事務事業名		JA北つくば農業部会等参画事業				事業区分		担当	
						新規/継続	継続	事務事業No.	050103000831
						単独/補助	単独	所属課	050101
政策体系	総合計画の施策名	0501 農業の振興				主要事業			農林課
	政策名	05 魅力と活力のある産業社会づくり				市長マニフェスト			
	施策名	01 農業の振興				未来PJ事業		グループ	農政G
	基本事業名	03 農業の効率化推進				合併建設計画事業			
財務会計上の位置付け						事業期間			
予算科目	会計	款	項	目	事業	細	単年度繰返し (年度～)		
	01	06	01	03	02	00	園芸振興事業		
法令根拠						→ 期間限定の場合、総投入量を(3)投入量の右側に記入			

【Do】 1. 事務事業の現状把握(その1)

(1) 事務事業の概要	
手段	①事務事業の概要(事務事業の全体像) ・JA北つくばの市内にある部会への参画事業。 ・真壁生産組織連絡協議会・こだまスイカ産地女性の会・大和園芸部会・こだま西瓜部会 大和支部・真壁促成部会・東部とまと選果場部会・真壁園芸部会・花き部会・こだま西瓜部会(全体)・真壁普通作物生産部会・ほっこり南瓜部会・大和良質米生産研究会
	②担当者が行う業務の内容・やり方・手順 ・各部会の総会および研修会等への参加

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移								
①手段 (担当者の活動内容)		④活動指標 (活動量を表す指標)	単位	27年度 (実績)	28年度 (実績)	29年度 (計画)	30年度 (目標)	31年度 (目標)
・各種部会の総会および研修会等への参加		会議等参加回数	回	24.00	24.00	20.00	20.00	20.00
				0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
				0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
				0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
②対象 (誰、何を対象にしているのか)		⑤対象指標 (対象の大きさを表す指標)	単位	27年度 (実績)	28年度 (実績)	29年度 (計画)	30年度 (目標)	31年度 (目標)
・JA北つくば真壁支店および大和支店の各部会		部会数	部会	13.00	12.00	12.00	12.00	12.00
				0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
				0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
③意図 (この事業によって対象をどう変えるのか)		⑥成果指標 (対象における意図の達成度を表す指標)	単位	27年度 (実績)	28年度 (実績)	29年度 (計画)	30年度 (目標)	31年度 (目標)
・部会会員数の増加		部会員数	人	332.00	317.00	320.00	320.00	320.00
				0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
				0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

(3) 投入量(事業費)の推移				27年度 (実績)	28年度 (実績)	29年度 (計画)	30年度 (目標)	31年度 (目標)	期間限定 総投入量	
投入量	事業費	財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0
			県支出金	千円	0	0	0	0	0	0
			地方債	千円	0	0	0	0	0	0
			使用料・手数料	千円	0	0	0	0	0	0
			その他	千円	0	0	0	0	0	0
			一般財源	千円	0	0	0	0	0	0
			事業費計(A)	千円	0	0	0	0	0	0
	人件費	正規職員従事人数	人	2.00人	2.00人	2.00人	2.00人	2.00人		
		述べ業務時間	時間	65.00	75.00	60.00	60.00	60.00		
		人件費計(B)	千円	189	218	174	174	177		
トータルコスト(A)+(B)			千円	189	218	174	174	177		

事業費の内訳	28年度事業費 実績(千円)				29年度事業費 予算(千円)			
			合 計	0			合 計	0

(4) 当該年度の実施内容		29年度の事業内容		30年度の事業内容		31年度の事業内容	
※下記に該当する事業は、年度ごとに事業内容を記入する ・主要事業 ・市長マニフェスト ・未来PJ事業 ・合併建設計画事業							

事務事業名	J A北つくば農業部会等参画事業	事務事業No.	50103000831	所属課	農林課
-------	------------------	---------	-------------	-----	-----

【Do】 1. 事務事業の現状把握（その2）

(5) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？	
・市農業の振興を目的とし、J A北つくば真壁支店及び大和支店の、各生産部会を対象に始められた。	
(6) この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者）からどんな意見や要望が寄せられているか？	
・平成24年度で補助金の交付が終了となったが、衰退する農業に対して今後補助金を復活してほしいとの要望がある。 ・同じJ A管内である筑西市との補助金の格差を是正してほしいとの要望がある。	
(7) 前回の事務事業評価に対する改革・改善の具体的内容	
改革改善を行う	・13ある部会を一本化して、ひとつの事務事業として統合していく。

【See】 2. 評価の部 *原則は事前評価。

評 価 項 目	
目的 妥当性	①政策体系との整合性（この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？）
	☒ 結びついている ・市の基幹産業である農業の振興が目的であるため妥当である。
	②公共関与の妥当性（なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？）（法定受託事業はその名称）
有効性	☒ 妥当である ・農業の振興を図るうえで、市が中心となるため妥当である。
	③成果の向上余地（成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？）
	☒ 向上余地がない ・農業後継者が少なく、部会員も高齢のため現状維持が精一杯である。
	④廃止・休止の成果への影響（事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？）
	☒ 影響無 ・補助金の交付を終了してから部会の運営に支障はないため事業廃止をしても影響はない。
効率性	⑤類似事業との統合・連携の可能性（類似事業や統合の可能性はありますか？（市以外の取り組みも含む）） （他に手段がある場合）⇒ 具体的な手段、事務事業名 農産物生産組織育成参画事業
	☒ 統廃合ができる ・多数ある各部会の総会のみに出席を限定するなど事務事業内で統一する。
	⑥事業費・人件費の削減余地（成果を下げずに事業費を削減できないか？やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか？）
公平性	☒ 削減余地がない ・すでに補助金は終了しており、人件費も最低限である。
	⑦受益機会・費用負担の適正化余地（事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？）
☒ 公正・公平である ・農業の振興と後継者育成の観点から公平といえる。	

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性（次年度計画と予算への反映）

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括（振り返り、反省点）																						
①目的妥当性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ②有効性 ☐ 適切 ☒ 見直し余地あり ③効率性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ④公平性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり	⇒	・品目ごとに分かれている部会の統合は、困難のため事務事業内での作業内容の統一を図るべきと思われる。																						
(3) 今後の事業の方向性		(4) 改革・改善による期待成果（終了・廃止・休止の場合は記入不要）																						
☐ 終了 ☒ 継続 ☐ 改革改善を行う ☐ 現状維持 ☐ 廃止 ☐ 休止		（複数回答可） ☐ 目的の再設定 ☐ 効率性の改善 ☒ 有効性の改善 ☐ 公平性の改善 ☒ 統廃合ができる ☐ 連携ができる																						
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題（壁）とその解決策		<table border="1"> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>○</td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○	×	低下		×	×
		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持		○	×																				
	低下		×	×																				
(6) 事務事業優先度評価結果																								
成果優先度評価結果																								
コスト削減優先度評価結果																								

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価（課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合）
課長確認後の評価 ☐ A：継続（現状維持） C：終了、廃止、休止 ☐ B：継続（改革改善を行う） D：2次評価へ提出	確認欄 ☐